

10年かけてもこの道を目指したい。  
38歳で医師免許を取った

カウンセリングには白衣ではなく、和服を着る。原さんは医師の資格をもつ心理カウンセラーだ。転職活動をしていたとき、本との出会いがきっかけで、精神科医になろうと決心。38歳で大学に入り直し、38歳で医師免許を取った。

20代は英語塾の講師、法律事務所の事務員、大学教授の秘書、派遣スタッフなど、2~3年おきに転職を経験。どの仕事も全力投球したが、自分を活かせる仕事は何かはわからなかった。

30代に入り「そろそろ腰を落ちつけよう」と、正社員の仕事を求め転職活動をしていたとき、電車とホームの間に足をすべらし大怪我をしてしまう。転職活動は中断。しばらくベッドの上で身動きできずショックだったが、ならば「じっくり本でも読もう」と開き直った。そして、そのとき読んだカウンセラーの本に感銘し、「私のやりたいことはこれだ」と直感。10年かけてでも、この道を目指そうと思ったという。

目標が定めれば情報は自ずと集まるもので、原さんは新聞の小さな記事で、医学部への学士入学があることを知る。幸運にも、試験は英語と小論文と面接だけだった。

「でも入ってからが大変でした。とんでもないところに来てしまったなと(笑)。私はもともと文系出身ですし、10年以上学問から遠ざかっている。若いころに比べ記憶力も落ちていたので、勉強についていだけで必死でした」

しかし心を決めたからには、後戻りはできない。気力と体力を振り絞り、5年後に無事卒業。

その後、病院勤務で実地訓練を積み、03年には「カウンセリングサロン静かな樹」をオープン。医学部での苦しい日々を乗り越えて、やっと理想の仕事にたどり着いた。

どんな人にも100の力が眠っている

「人からは『過回りしましたね』と言われるけれど、私は全くそんなふうには思っていないんです。10年間会社勤めをした経験が土の中の養分となり、今、芽が出てきたという感じ。私にとってはすべてが必要なことだったんです」

そう言えるのは何事にも精一杯取り組んできた証拠だが、原さんは誰もが「見えない100の力をもっている」と言う。

「ただし、今の自分にできることだけをやっていると、60の力しか発揮できません。見えない100の力を引き出すには、無理と考えることにも挑戦してみる。自分を過小評価する必要はないんです。みんな今まで生きた時間を大事にしたいから、スタート地点に立つのが怖いのだと思う。でも、人生をリセットしても、今までやってきたことは決して無にはなりませんよ」



派遣スタッフ >>> 医師免許をもった心理カウンセラー

●カウンセリングサロン静かな樹

原美紀さん age.45

私は80歳になっても  
自分を変える努力を  
すると思う。  
過ぎた時間にとら  
われることなく



はら・みき ●1960年生まれ。英語塾講師、社長秘書などの仕事を経て、東海大学医学部に学士入学。38歳で医師免許を取得。精神科病院に勤務したのち、03年「カウンセリングサロン静かな樹」をオープン。カウンセリングを中心に、アロマセラピーや催眠療法などを取り入れている。  
<http://www.shizukanaki.com>